

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（4月分）

派遣先：Vilnius university

氏名：児玉七海

早いことにヴィリニウスに来てから3か月が経ちました。Time fries! リトアニアは気候的にも、物価的にも、治安の面でもほかのヨーロッパの国に比べて住みやすいため、まだ正直日本に戻りたくないな～という気持ちが最近強くなってきています。



■ウジュピス

さて今月は、4月1日のウジュピス共和国の独立記念祭から始まりました。ウジュピスとはリトアニアのヴィリニウス内にある小さな地域で、1998年4月1日にリトアニアから“独立”しました。独立といっても未承認国家ですが、独自の国旗や憲法を持っており、毎年エイプリルフールの4月1日には独立記念日として街をあげてお祝いが行われます。またこの日は、ウジュピスへ“入国”するためにパスポートが必要であったり、車の検問が行われたりしており、意外と本格的で驚きました。ウジュピス独立記念日に参加することは私のヴィリニウスでの夢の一つだったため、今回住民

たちとこの街の自由や希望と一緒に祝えて、非常にいい思い出になりました。

■イースターホリデー旅行

リトアニアは4月11日から18日までの一週間がイースターホリデーであったため、スペインとイタリアに旅行へ行きました。リトアニアは4月といえどもまだ気温が1桁の日があり、まだ春を感じられていませんでしたが、スペインやイタリアは気候も温かく人々も気さくで情熱的で、すぐにこれらの国が大好きになりました。特にリトアニアでは海鮮料理を食べることがなかなかできないため、スペインではパエリア、イタリアでは海鮮パスタを満足がいくまでたくさん食べました。

最も印象的だった都市は、イタリアのヴェネチアで運河の中にできたその町は非常に美しく、どこにカメラを向けても素敵な光景が広がっていて、またこの留学中にぜひ訪れたいと思いました。



サグラダ・ファミリア (バルセロナ・スペイン)



ヴェネチア (イタリア)



■リトアニアで迎えた誕生日



4月26日は私の誕生日だったため、バディーの手を借りながら自分の誕生日パーティーを開催しました。日本では、誕生日の本人からパーティーを開催する文化はあまりないですが、新しい経験のためにここリトアニアで挑戦してみました。バーに友達を招待して、みんなで話したりお酒を飲んだりして楽しい時間を過ごし、リトアニアで迎えた22歳はとても特別なものになりました。

■日本のイベント

4月末ごろには、ついにリトアニアにある桜の木々が開花しました。ヴィリニウスに咲く桜を見ているだけで日本にいるような不思議な感じがします。

また、今年はリトアニアと日本の友好100年記念の年ということもあり、ヴィリニウスやカウナスで様々な日本文化のイベントが開催されました。私はヴィリニウスでリトアニア人の友達に誘われたお茶会のイベントに参加しました。桜の木の下で現地の人々がその場で点てられた抹茶を楽しむ風景は、日本人が行う花見よりも“日本ぽい”ものとして私の目に映りました。さらに驚くべきことに、偶然このイベントを取材していたリトアニアのテレビ局に日本について教えてほしい！と声を掛けられ、日本人にとっての桜や花見について英語で



インタビューを受けました。とても緊張しましたが、福井の足羽川桜並木について紹介ができ、またリトアニアのテレビに出るといふ貴重な経験ができてうれしかったです。

リトアニアに来る前は、今年が日リトアニアの友好 100 周年であることは知りませんでした。記念すべきこの年に日本人としてここリトアニアに留学ができてよかったと思いました。